



むかわ けい

市政報告vol9
【令和5年第5号】

(表)図書館相武台分館について

(裏)7月・8月・9月の活動報告

Mail: kmukawa0126@gmail.com
TEL: 090-8042-5334
後援会事務所: 相武台2-24-6-102

ホームページ



令和3年に「行財政構造改革プラン」で図書館相武台分館が「令和6-9年中の廃止」とされたことは、地元で有名です。廃止に関して、議会やまちかど市長室、まちづくり会議など様々場で意見交換がされてきました。

しかし、「なぜ相武台分館が廃止とされなければいけないのか」といった議論の出発点については、私含め必ずしも広く市民に、正確に共有されてきていませんでした。議論の出発点を明確化し共通認識としなければ、市も、議会も、地域住民も、丁寧かつ建設的で、真に相武台分館の将来を想った今後の検討はできません。

本レポートでは、私も小学生の頃沢山利用し、今は娘が利用している、愛着ある相武台分館について、9月の市議会での「むかわ けい」と市との質疑応答を基にしなが、その今と未来をご提示します。



質疑応答全文はこちら↓



なぜ相武台分館が廃止となるのか

理由① 相武台地区の人口減少や少子高齢化が進み、利用者数が過去30年で半減しました。今後相武台の人口は3割減する見込み（人口推計より）のため、更に利用者が減少することが懸念されます。72万人市民全体の公共施設として、より多くの市民に利用してもらうことが課題となっています。

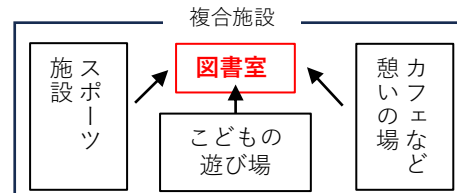
理由② 少子高齢化といった社会変化やその時代に合わせたニーズに則し、より多くの市民に利用してもらうため、相武台分館は複合化・多機能化・集約化を図る必要があります。

理由③ 市内全体で多くの公共施設が老朽化している状況を踏まえ、利用者が減少している施設は計画的保全建築物の対象外と市が決定しています。私も市議に就任し、詳細に調査、取材していくことで初めてわかったことで、上記のように、必ずしも「お金をないから廃止」といった理由に限らないことが明らかとなりました。どうすれば利用者を増せるか、今後も考えていきます。

貸出利用者数(利用者重複在り)の変化

年度	相模原市立図書館		相武台分館
	図書室	書館	
1993年度	5.6万人	21万人	
2022年度	2.5万人	15万人	5割減

複合施設の考え方(例)
図書目的以外の施設訪問者が「せっかくなのでついでに」利用する



今、確認できていること

✓相武台地区から図書館はなくなるの？

・相武台地区に図書室機能の確保を検討する。(9/25 市議会本会議市長答弁)

✓どうやって図書機能を確保していく？

・施設の複合化や多機能化、集約化を図り必要な公共サービスの提供を目指す。

(9/25 市議会本会議市長答弁)

✓将来、相武台の図書機能施設はどこに確保されるの？

・相武台公民館や、もえぎ台小学校の将来的な地域利用の中でも可能性を探っていきたい。(昨年4/16 まちかど市長室、市長発言)

✓施設が遠くなるのは困るという声に対しては？

・まちづくり会議専門部会でのご意見や地域の皆さまの声も伺いながら、アクセシビリティ等の調査についても検討していく。(9/25 市議会本会議 生涯学習部長答弁)

✓今後の市民との対話は？

・相武台分館が果たしてきた役割や歴史を大切にしつつ、社会のニーズや時代の変化に合わせた図書機能のあり方について、地域の皆様との対話を行いながら検討していく。(9/25 市議会本会議市長答弁)

・相武台地区まちづくり会議では概ね2年検討を重ねる。

(8/22 まちづくり会議専門部会事務局資料)

むかわけいの考え(未来に向けて)

利用者を増やしていくためには

もえぎ台小メモリアルホールが図書機能の場となる？

- 複合施設の中に図書機能を導入、
- ・(宿泊機能付き?) スポーツ施設
- ・カフェなど老若男女が集いつづげる場
- ・家族連れが楽しめるこどもの遊び場
- ・ロボット・AI企業の実証実験の場



などを集約させ、図書利用目的でない方が「ついでに」図書室にも立ち寄りしかりける必要があると考えます。

○駐車場の確保や送迎バスの導入が必須と考えます。

○場所は、未定ですが我が母校「もえぎ台小学校跡地が最有力」と睨んでいます。

○児童書の充実や調べものに関する相談、おはなし会の充実といった相武台分館の機能維持を大前提としたスペース・設備確保を進めます。

何より、市民にとって誇れる施設となるよう、引き続き地域住民との対話を進めながら未来志向で取り組みます。

まだまだ意見は市にも伝えられます。いつでもご意見をお寄せください。

市議会議員の仕事 (私のこれまでの半年間、その後の半年間)

市議会議員
就任 4/30

日常の会話など)
・お祭り、まちづくり会議、
・市民意見の聞き取り
情報交換
・企業や識者との意見交換、
・市議、県議、国会議員、
の調査研究、取材
・市議会、市役所で課題
の調査研究、取材

9月市議会
(一般質問)

再び対話、研究、取材、調整
で3月に向けて準備

3月市議会
(一般質問)

一般質問で市長や市行政と質疑応答した内容は、今後の市政に多大な影響を与えます。このサイクルを任期4年で繰り返します。

7/12・8/3・9/14 基地対策特別委員会・基地返還促進協議会

7/12は国内視察先について議論。

8/3は米軍基地返還促進協議会の理事会に出席。

主に防衛省、外務省への要望内容と、他、米軍に向けた要望内容の素案を確認しました。米軍基地では私たち日本の、そして地元の主権が事実上認められていないようなものです。要望を米国側に受け入れて貰うことは困難を極めますが、毎年粘り強く市民主体の声を届けていきます。

9/14は陳情の採決。

陳情は厚木飛行場の航空機騒音に対する住宅防音工事についての国からの助成金関するもの。審議の結果、総員賛成で委員会採択となりました。



7/26・27 さがみはら自民党 企業団体の要望ヒアリング

全業種的に団体から要望を聞き取り。現場の声を聞きとり、業界が真に求める課題を研究。



【意見交換した団体】

交通安全協会/幼稚園・認定こども園/郵便局/建設業協会/司法書士会/農協/LPガス協会/病院協会/薬剤師会/トラック協会/れんきょう/印刷広告組合/宅建政治連盟/観光協会/不動産協会/行政書士会/医師連盟/弁護士会/歯科医師会/社労士会/土地家屋調査会 他

7・8月 市政報告会 (相武台駅前・新戸・下溝)

各地域の市政の状況を報告。甘利衆議院議員、細谷県会議員にも参加いただきました。



今後も、各地で開催予定です。

7～9月 地元で皆さんと共に取り組んだ課題

○相武台3丁目の交差点の道路は轍など、老朽化がみられたため、再舗装を進めていただきました。



○6/3の豪雨で、当麻の「飄禄玉」前道路が崖崩れで通行止めとなりましたが、7/28より通行が可能となりました。



○建築基準法を逸脱した開発・建造物への指導を市へ要請。既に騒音や異臭トラブルが発生しています。引き続き、問題解決に向け働きます。



その他、カーブミラーを覆ってしまったり、交差点の見通しを悪くしている枝葉の剪定など、地元の皆さまからいただいたご相談事項は南土木事務所の迅速な対応等により、着実に進んでいます。

9/12 建設委員会・決算分科会

むかわけいの建設委員会質疑内容↓

建設委員会所属議員として、以下議案・決算内容などを審査・質疑・要望。

- 子育て世帯への中古住宅購入補助事業について
- リニア橋本駅整備に向けた基金活用について
- 当麻花が谷戸地区区画整理事業について
- まちづくりアドバイザー制度のまちづくり会議における活用について
- グリーンスローモビリティの事業継続に向けて
- 相武台下駅エレベーター設置について
- 県道52号線渋滞緩和に向けた「交通需要マネジメント事業」について
- 雑草抑制のための土系舗装や防草シートの積極的活用について
- 公共工事の年間発注平準化にむけた2か年市債の導入について
- 新磯地区の避難所指定のあり方について



務川 慧 委員 (自民党)

9/25 本会議 (一般質問)

質問内容は、私が出馬する前に数千人の皆様との対話の中から見出した政策に関することです。

当時、選挙公報に政策を記載しましたが、今回は

- こどもの居場所、地域の伝統行事の振興推進
 - 学校と地域の連携・協働体制をサポート
- に関連して、「図書館相武台分館について」質疑。
- レアアース等戦略物資関連の誘致促進
- に関連して、「一般最終処分場について」質疑。
- ロボット産業特区を通じた研究開発の促進
 - IT技術関連事業をはじめ若手起業家を後押し
- に関連して、「先端物流都市を目指すことについて」「国のフィジカルインターネット構想について」質疑。
- 道路などのインフラ整備の推進
 - 麻溝台・新磯野整備推進事業で新規転入者を呼び込み
- に関連して、「麻溝台・新磯野整備事業について」質疑。



務川 慧 議員 (自民党)

むかわけいの本会議一般質問の様子↓



最後に、今後の新しいまちづくりに向けて、市による積極的な投資が必要ですが、「建設債の積極的な活用について」、「新たなまちづくりの担い手確保について」質疑しました。